

過日ご協力いただきました学校経営診断アンケートの集計結果をお知らせいたします。

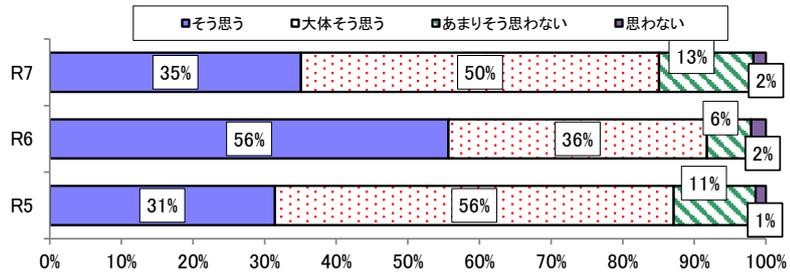
【回答者数 114人】

令和7年度 学校経営診断アンケート集計結果【保護者の方】

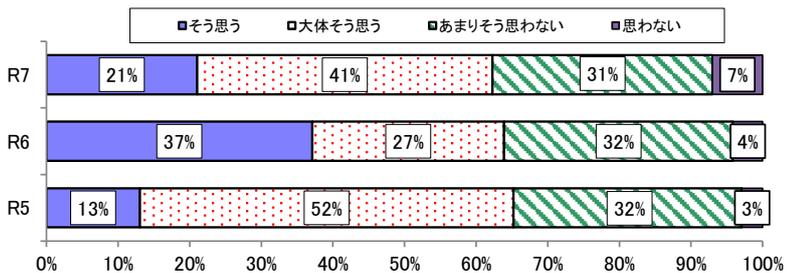
1 学習

※表示されているパーセンテージは四捨五入されているため、合計が100にならない場合があります。

- ① お子さんは、授業が分かりやすいと言っている。



- ② お子さんは、家庭学習の習慣が身についている。

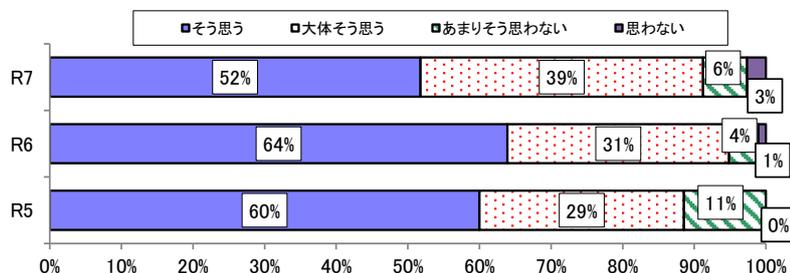


『① お子さんは、授業がわかりやすいと言っている』の問いに対しては、「そう思う」「大体そう思う」を合わせて85%と高い結果となりましたが、前年度と比較すると7%減少しました。本年度は、従来の基礎基本の定着をねらいとした授業展開から、身に付けた知識を生かして互いの意見を伝え合うことで、自らの考えをより深めていくことをねらいとした授業展開の工夫を行っています。今後はさらに、子供たちが「友達と一緒にだからこそ知ることができた」「わかった、できた、楽しかった」という充実感・喜びを得られるような支援を心掛けてまいります。

『② お子さんは家庭学習の習慣が身についている』については、「そう思う」「大体そう思う」の割合を合わせて昨年とほぼ同様の結果となりました。学校では、今後もデジタル教材等の活用も行いながら前向きに家庭学習の取組ができるよう計画をしております。お子さんが自ら学ぶ習慣を身につけられるよう、引き続き家庭での保護者の皆様からの声かけ、働きかけをお願いします。

2 学校生活

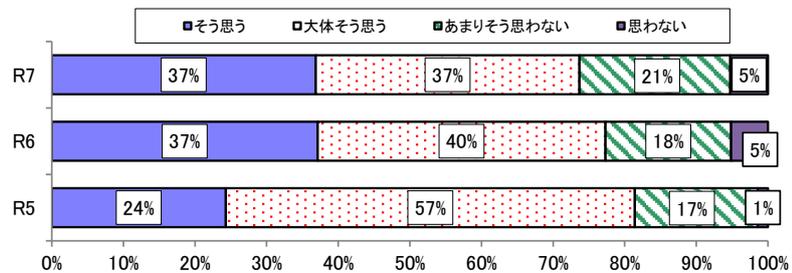
- ③ お子さんは、自分の学級を楽しんでいる。



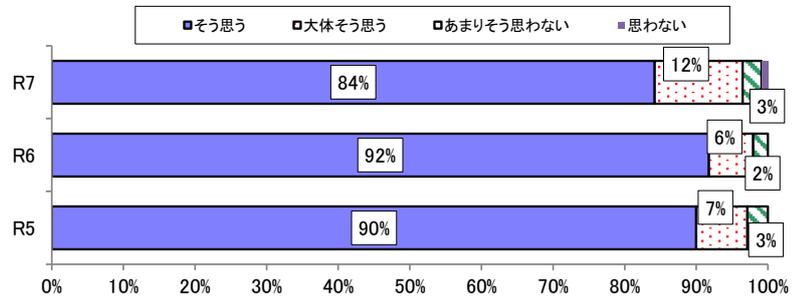
『③ お子さんは、自分の学級を楽しんでいる』の問いについて、「そう思う」「大体そう思う」を合わせて2年連続で90%を超える結果となりました。学級による差が生じることのないよう、また、お子さんが学校や学級を「楽しい」「大好き」と思えるように、「わかりやすい授業」「子ども同士のよりよい人間関係」「子どもに信頼される教師集団」となるように努力を続けていきます。

3 生活習慣

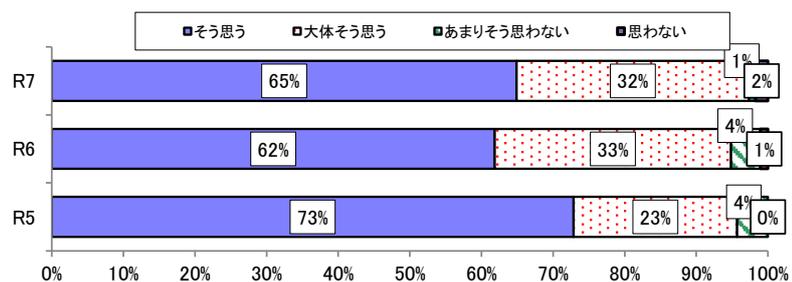
- ④ お子さんは、早寝早起きの習慣が身に付いている。



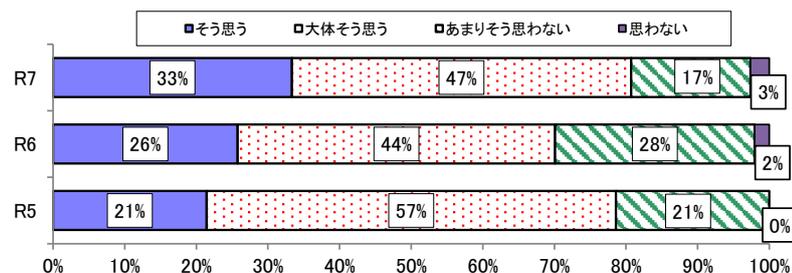
- ⑤ お子さんは、朝食を食べてから登校している。



- ⑥ お子さんは、家庭でのあいさつ（おはよう、行ってきます、おやすみ等）がきちんとできている。



- ⑦ お子さんは、地域の人や知っている人にあいさつや会釈がきちんとできる。

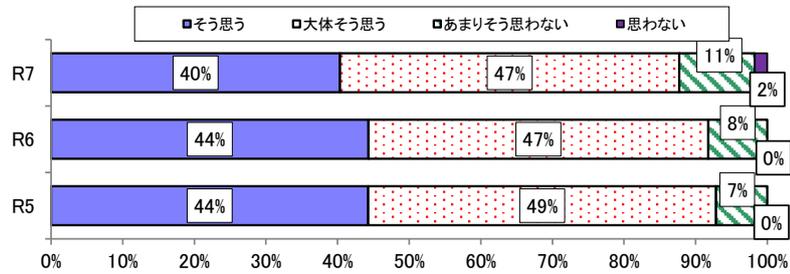


『④ 早寝早起きの習慣が身に付いている』については、「そう思う」「大体そう思う」の割合が74%となり、3年連続で減少傾向にあります。学校では、十分な睡眠をとることは、健康な生活を送る上で大切な習慣であると指導しています。毎日決まった時間に就寝・起床できるよう、ご家庭でも声掛けをお願いいたします。

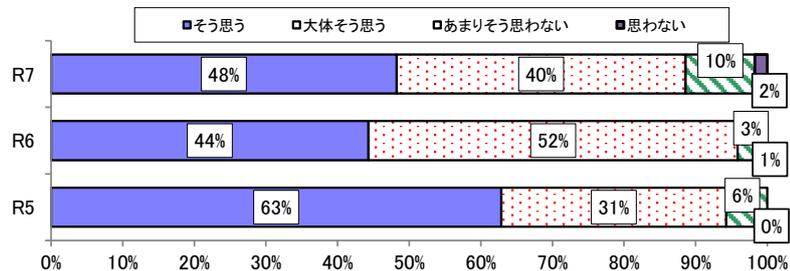
『⑥ 家庭でのあいさつがきちんとできている』『⑦ 地域の人や知っている人にあいさつができる』については、昨年度同様に「家庭内でのあいさつはよくできているが、地域の人へのあいさつは今一歩」という結果となりました。学校では、児童会や中学校区の3校合同であいさつ運動を実践するなど、あいさつの習慣が定着するよう指導しています。今後も、あいさつが大切なコミュニケーションの方法であることを児童が意識できるように、あいさつの大切さについて継続して指導していきたいと思います。

4 教師集団

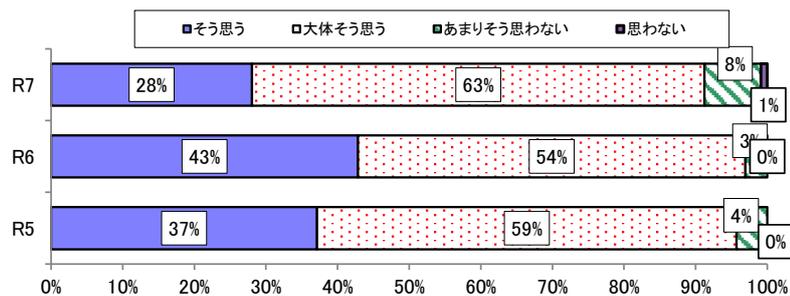
- ⑧ お子さんのことで悩み事があれば、学校に相談できる。



- ⑨ 学級担任は、お子さんのことをよく理解している。



- ⑩ 学校が行う学力向上の取り組み（授業、漢字・計算などの基礎学力指導等）は適切である。

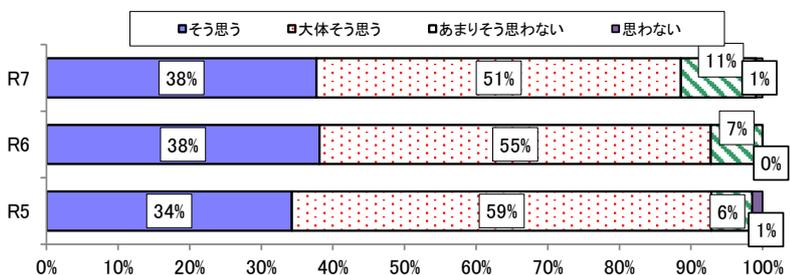


『⑨ 学級担任は、お子さんのことをよく理解している』では、「そう思う」「大体そう思う」を合わせて88%と高い結果ではありますが、昨年度に比べて8ポイントの減少となりました。この結果を真摯に受け止め、赤見小のすべての担任が保護者から信頼していただけるように、児童一人一人に丁寧に向き合い、寄り添いながら関わりを深め、児童理解に努めていきたいと考えます。

『⑩ 学校が行う学力向上の取り組みは適切である』は、「そう思う」「大体そう思う」を合わせて91%であり、3年連続で高い評価をいただきました。本校の「言葉の力」を高めるための辞書引き学習などの取り組みについて保護者の皆様方のご理解をいただけた結果ととらえております。今後も、児童の実態を的確にとらえ、学力向上に向けて学習指導の検点・改善の努力を継続していきます。

5 いじめ対策

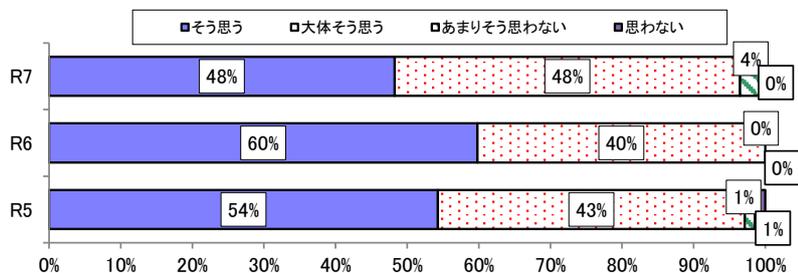
- ⑪ 学校でのいじめ対策や不登校対策の取組（生活アンケート、担任と児童の面談など）は適切である。



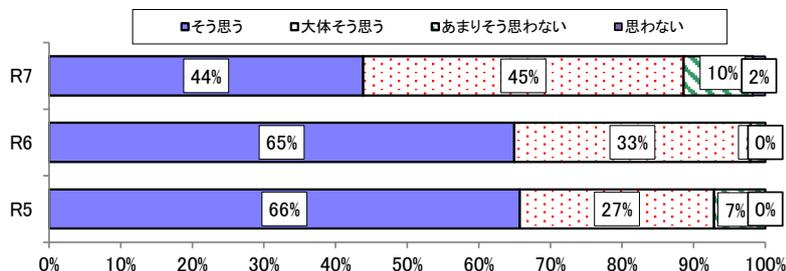
『⑪ 学校でのいじめ対策や不登校対策の取組』について、本校では、よりよい人間関係作りやいじめを起こさないための取組として、異学年でのなかよし交流活動や人権教育、「ピアサポート」という手法を用いた人間関係づくりのためのトレーニングなどを実施してきました。また、「なかよしアンケート」や定期的な相談活動、毎月行う「1日観察日」の実施と「すこやか会議」による児童の情報共有などの取組を行っております。いじめの早期発見や不登校の早期解消のためには、ご家庭の協力も不可欠です。お子さんの様子などで気になる点がありましたら、すぐに学校にもお知らせください。保護者の方と一緒に解決に向けた取組を進めていきます。また、教職員だけでなく、スクールカウンセラーによるカウンセリング（教育相談）なども利用できます。

6 開かれた学校づくり

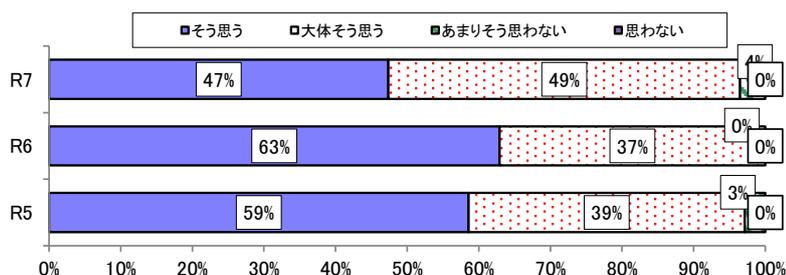
- ⑫ 学校からのたより（赤見だより、学年だより、保健だより、予定表等）の内容は適切である。



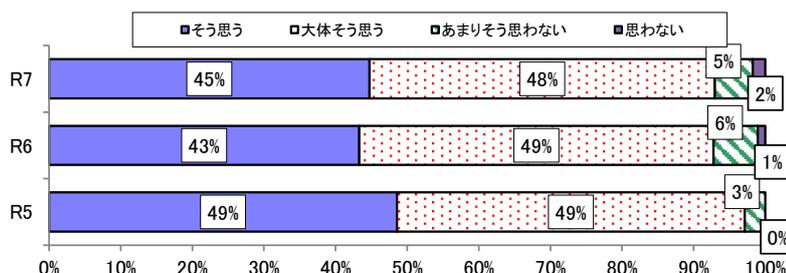
- ⑬ 学校のウェブサイトやテトルでの配信内容を見ている。



- ⑭ 学校のウェブサイトの内容は適切である。



- ⑮ 学校は、児童の安全確保に努めている。

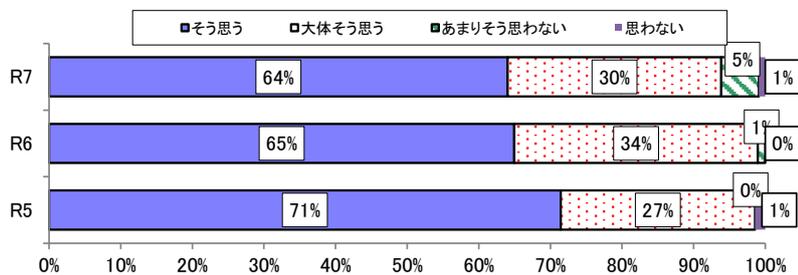


『⑫ 学校からのたよりの内容は適切である』について、今年度も高い評価をいただきました。学校保護者連絡ツール『テトル』を通じての各種おたよりの配信が定着し、必要に応じてダウンロードしていただいている方もみえます。今後も、学校の情報をタイムリーに配信してまいります。

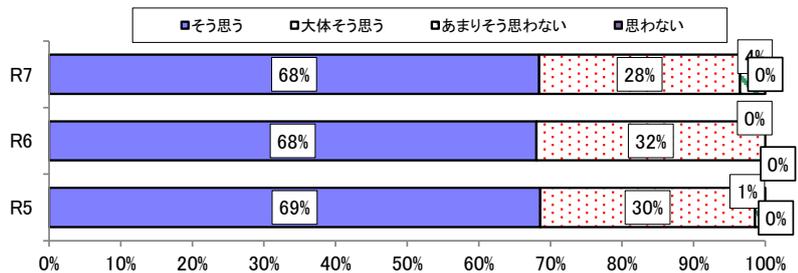
『⑭ ウェブサイトの内容は適切である』については、「そう思う」「大体そう思う」の割合が、3年連続で95%を超える結果となりました。今後も子供たちの日々の教育活動についてリアルタイムで発信することを通して、「学校でのお子さんの様子や教育活動の状況を知ることができる情報源」となるように、個人情報に配慮しながら配信やアップロードをしていきたいと思っております。

『⑮ 学校は、児童の安全確保に努めている』については、「そう思う」の割合がやや増加しました。学校では、風邪やインフルエンザ等の感染症への継続的な対策だけでなく、学校での事故が起きないようにKYT（危険予知トレーニング）のほか、概ね月1回の避難訓練（簡易的なものも含む）の実施を通して、児童自身が安全対策を意識して学校生活を送ることができるように指導しています。校外においては、旗当番の方や見守り隊の方々を中心として、児童の登下校の安全が守られています。今後も、学校・地域・家庭が手を取り合って児童の安全・安心を確保していきたいと存じます。

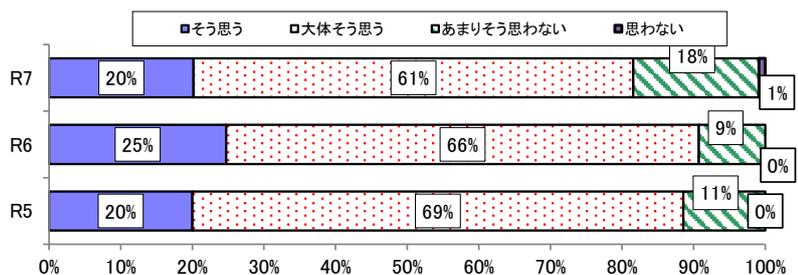
- ⑩ 教職員の対応（電話や挨拶など）は丁寧である。



- ⑪ 学校は積極的に授業などの公開を行っている。



- ⑫ 保護者や地域の方の意見が教育活動に活かされている。



『16 教職員の対応（電話や挨拶など）は丁寧である』については、「そう思う」「大体そう思う」の割合がやや減少しました。児童の手本となるべき教職員が、率先して挨拶や丁寧な対応を心掛けることが、児童の生活マナーの向上にもつながるという意識の下で、今後も研鑽を積んでまいりたいと存じます。

『17 学校は積極的に授業などの公開を行っている』については3年連続で高評価をいただきました。今後も子どもたちの成長を定期的にご覧いただけるよう公開をしていきたいと思ひます。

『18 保護者や地域の方の意見が教育活動に活かされている』については「そう思う」「大体そう思う」を合わせると、昨年より10%減少しました。また、約20%の保護者の方が「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答している結果から、十分にご意見をお聞きできなかった点もあるのではないかと考えます。今後も、お気づきの点を含め、建設的なご意見をいただけたら幸いです。